

# のうきよう ちがしづ



'95

5

No.242

# のうきょう ちびっつ

ヨーグルトきのこケフィアオーレに  
新しく150ml小型ボトルが登場しました。  
生きたケフィアの本物の味をご試飲ください。



## もくじ

- 3 ——— 〈未来を担う若者〉  
自分が本当に納得してから  
渡辺一夫さん(31歳)
- 4~5 — 第48回中標津町農協通常総会
- 6~7 — 〈営農技術〉  
菌種別の乳戻炎対策を
- 8 ——— 〈わが家の人気者〉  
私はかわいいコックさん  
伊東真衣ちゃん(2歳7カ月)
- 9 ——— 〈組合長日誌〉  
総会での議論を念頭におき
- 10 ——— 中標津B & Wショウ
- 11 ——— 第42回農協婦人部通常総会
- 12~14 — 加工向成分取引き一部変更  
乳質乳価の改定
- 15 ——— 第47回農協青年部通常総会
- 17 ——— 〈ミルクタイム〉  
デンマークでの実習を終えて  
南俣橋 中村正生
- 18 ——— 黒毛和種の子牛出荷
- 19 ——— 理事会の経過
- 20 ——— 〈暮らしの知恵袋〉  
カートを使って搾乳を楽しく
- 22~23 — 今月のフォトアルバム
- 24 ——— 4月の組合日誌

# あす 未来を 担う若者

侯落地区 渡辺一夫さん(31歳)



現状の中でメリットを追求していきたいと話す一夫さん

仕事をする時は徹底して、遊びや酒を飲む時も中途半端では気が済まないと話すのは渡辺一夫さん三十一歳。

奥さんの節子さんとは、結婚して十年目。一樹くん(八歳)と雅人くん(六歳)の二児の父親です。

渡辺農場は、五十八畝の経営面積に乳牛約百三十頭を飼養する酪

## 自分が本当に納得してから

イトとは言っても約二年間の中で畑起こしから整地、牧草の種播きなどの技術を身につけ、自家草地の更新については、すべて一夫さんが行なっているとの事です。

しかし、このバイト中にトラクターの転倒事故で腰に大怪我を負い三カ月間入院。この時ばかりは一夫さんも再起不可能かと思っ

た。そうですが、奥さんや家族の手厚い看護のかいあって、怪我も徐々に快復し、退院に至ったそうです。

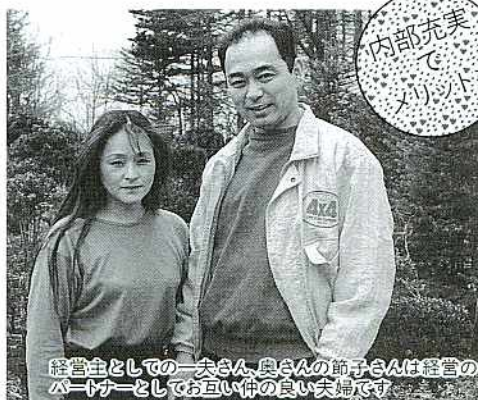
現在でも多少の後遺症があり、牧草収穫の忙しい時期や冬場の寒い時などは、腰に気を遣いながら慎重に作業を行なっているそうです。

この怪我をした事がきっかけではないが、牛舎内労働の作業効率を考えた育成舎を新築。搾乳牛舎と別棟に建て、餌給与もトラクター

で出来る様に設計。牛も月令ごとに区分けし、フリーストールタイプにした。この施設を作った事に

より、人間の身体も楽になったが、それに増して育成の状態が良くな

内部充実  
で  
メリットを

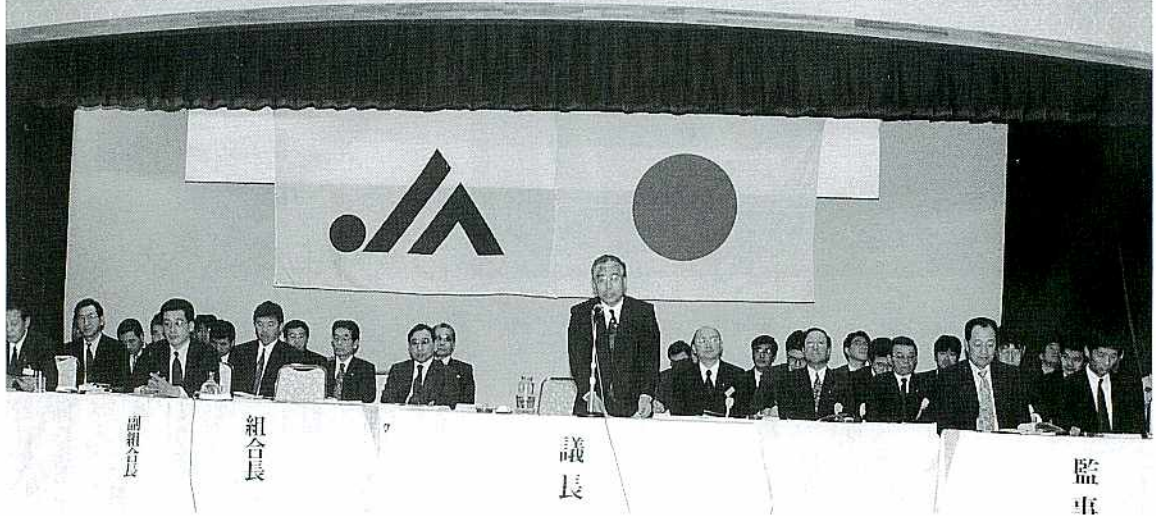


経営主としての一夫さん、奥さんの節子さんは経営のパートナーとしてお互い仲の良い夫婦です

り、事故も少なく、成牛になってからも順調に力を発揮してくれる事が最大のメリットにつながったと話す。この育成舎に合わせ、成牛の方もフリーストールに移行したい考えもあるそうですが、その投資額を考えると今一歩踏み切れないようで、事業の拡大、投資には非常に慎重です。

「人に言われてやるのではなく、自分が本当に納得してからでなければやらないし、借金をしてまでも拡大をしようとは今は思わない。現状施設もまだまだ活用できるし、メリットを出すための内部充実が先決」と話す一夫さんです。

# 中標津町農業協同組合 第48回通常総会



## さらなる経営手腕を

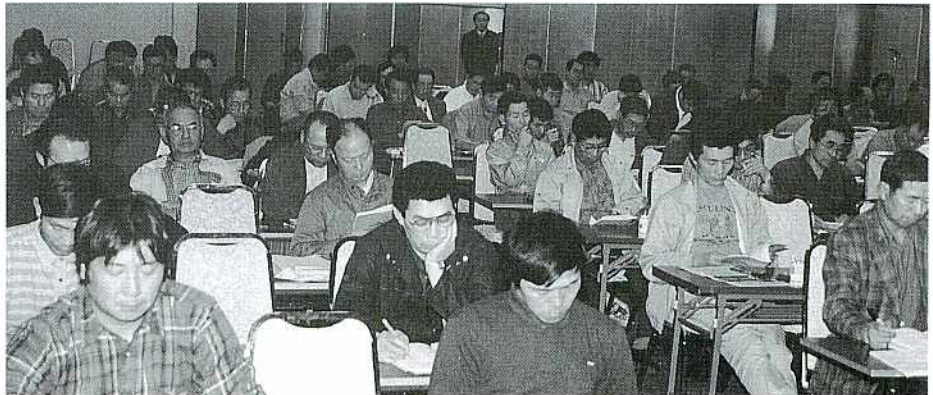
### 第48回中標津町農協通常総会

第四十八回中標津町農協通常総会が四月二十八日、トーヨーグランドホテルで開催されました。午前十時十五分、佐野参事が開会を宣言、三友組合長から酪農、畜産、畑作、なかしべつフーズ(株)、乳製品工場など、平成六年度の事業概要と、平成七年度に向けての基本的な考え方について述べられました。



受付も各地区ごとに担当があたり、スムーズに行なわれました

続いて多数出席された来賓の中から、根室支庁・八木沼農務課長、





信義と友愛をもって組合に結集しようと話す板橋氏



なかしべつフーズ㈱との共同会社の意味を問う房川氏

## なかしべつフーズ(株) 再建を承認

中標津町・松実収入役、系統連合会を代表し、北農中央会中標津支所・鈴木支所長の各氏から、祝辞を頂戴し、その中で八木沼氏は、激変の平成六年を乗り越えて来た事にお礼を述べると共に、自由化が進む中、この世の中がどうなっていくのか不安であるが、農業も含め経済界あげて、どう耐えて行くかの時代と述べられました。

議長には、第二俣落地区の佐藤載康氏が推薦で選任され議事に入りました。

議事では、議案第一号から、な

# 農業を守り、

かしべつフーズ㈱に対する、共同会社としての位置付け、再建に向けての農協の取り組みに質疑が集中しました。全会一致で原案通り（議案第四号、定款の一部変更をのぞく）可決されました。

その他、質疑応答では、畑総事業終了後の対応、シストセンチュウ対策、澱粉の販路拡大対策、乳製品工場の建設費の質間、農協合併の方向性などが上げられ、それぞれ答弁がなされました。

また、貸付金利息の軽減などを含め、スーパール資金などに対し農協の取り組み姿勢についての質問に対し、組合長よりスーパール資金に限らず、低金利の資金については積極的に取り組む旨答弁があり、全議事を終了いたしました。

最後に三友組合長から、「この總會を新たな出発点として、役員、職員、組合員が一体となり、この難局を乗り越えて行きたい」との挨拶が行なわれ、午後三時四十分閉会いたしました。

なお、平成七年度は次の重点事項を中心に、各部の事業を展開してまいります。

### 重点事項

- 一、経営規模に対応した合理的な経営管理の推進
- 二、農業所得確保と低コスト、生産性の向上
- 三、飼養管理技術の改善による乳房炎対策、衛生的乳質ならびに成分的乳質向上の推進
- 四、生産、生活環境の整備促進
- 五、農業後継者の対策
- 六、なかしべつフーズ(株)再建への支援
- 七、農協財務と経営収支の健全化



農協合併の方向性とは質問する林氏

# 菌種別の乳房炎対策を

乳房炎の原因菌は、何種類か存在し、感染経路や症状も若干異なっています。対策にあたっては、次の事に注意したいものです。

- ①原因菌はどんな経路で、乳牛個体の乳腺に感染するか。
- ②原因菌の伝染性の強さはどのくらいか。
- ③抗生物質治療に対して、感染菌はどのように反応するか。
- ④原因菌を牛群から完全にシャットアウトする可能性は、どの程度か。

## ◎伝染性乳房炎

主に搾乳中に、人の手やライナー、使いまわしのタオルなどを介して、牛から牛に伝染するタイプです。原因菌は乳頭の傷や乳汁、乳腺に住みついています。

正しい手順での搾乳はもちろん、

感染牛を後に搾るなどの対策が必要となります。

牛から牛にしか感染しないので、菌の存在しない牛群では、感染牛を導入しない限り発生することはありませんが、発症しないだけで潜在的に感染している場合もあり、確認するには、乳房炎菌の培養テストを行なう必要があります。

## ◎環境性乳房炎

牛舎、分娩場所、パドックの水たまりなどの他、腸内や腔、乳頭、乳房の皮膚など牛体にも存在します。腸内のものは排せつ時に、腔内に存在する菌は分娩時に排出され、牛床や分娩房を汚染し、感染にいたらしめます。

あらゆる所に存在するので、撲滅は不可能です。牛のとりまく環境をできるだけ清潔で乾いた条件

にする事が大切です。牛舎を乾いた状態にするには、換気なども重要になってきます。

搾乳時にも感染しますので、乳頭のみを集中して洗浄し、他はぬらさないような（細菌は歩けないが、泳ぐことができるので、乳房をぬらす事は避けます）搾乳を、正しい手順で行なうことが大切です。そういう意味で、ペーパータオルによるふき取りは有効です。

主な乳房炎菌のバルク乳1ml中細菌数と乳房炎牛の発生程度

細菌の種類	細菌数(個/ml)			
	いない又は少ない	やや多い	多い	非常に多い
無乳性連鎖球菌	<100	100-200	200-400	>400
黄色ブドウ球菌	<50	50-150	150-250	>250
無乳性以外の連鎖球菌	<700	700-1200	1200-2000	>2000
大腸菌群	<100	100-400	400-700	>700
表皮ブドウ球菌	<300	300-500	500-750	>750

農協営農資材課では、農村の美しい景観、環境作りに向けた、緑化木の斡旋を行なう事となりました。

この緑化木は、中標津町森林組合の苗木を取り扱うもので、庭木、生け垣用としても楽しめます。取りまとめは、五月十八日までとなっておりますので、お早めに営農資材課へ申し込み下さい。なお、引き渡しは五月二十日頃となります。

緑化木価格表

カラマツ(一畝)

一千百円

シラカバ(一畝)

六百円

ナナカマド(一・五畝)

## 緑化木の斡旋

農村の環境作りへ

申し込みは営農資材課へ

◎スクリーニングテスト

バルクタンクの牛乳から菌を培養し、その牛群の乳房炎菌別感染率をみるものです。

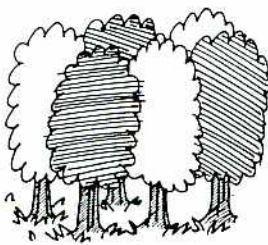
牛群の中で特定の菌の割合が高い場合、その菌に対する対策を行なう必要がでてきます。感染率が著しく高く、事態が深刻な場合は、

個体別のテストも行ない、感染牛を選別し、淘汰も含めた計画的対策が求められる場合もあります。

菌の種類	特徴
無乳性連鎖球菌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝染性、主に搾乳時に感染</li> <li>・育成が感染した親牛の乳を飲んだ口で、他の育成の乳を吸うと、吸われた牛が感染する。</li> <li>・乳糖、乳タンパクが低下する。</li> <li>・ペニシリン系の抗生物質が効果あり</li> <li>・潜在性のものが多い→培養テスト</li> <li>・ディッピングと乾乳期治療が重要</li> </ul>
黄色ブドウ球菌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝染性、主に搾乳時に感染</li> <li>・慢性になりやすい</li> <li>・菌が毒素を出し、牛体にダメージを与える</li> <li>・牛乳は水っぽく変色し、ブツが多い</li> <li>・乳房はしこる</li> <li>・多くは発熱しない</li> <li>・抗生物質がききずらく再発しやすい</li> <li>・感染牛は最後に搾るなど、感染経路を断つ必要あり</li> </ul>
無乳性以外の連鎖球菌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛舎、分べん場所、パドックの水たまり、土壌、繁殖器などあらゆる所に存在</li> <li>・分べん時に、大量の菌が敷料の上にまき散らされ蓄積する→分べん場所のこまめな掃除</li> <li>・乾乳期の終わり（乾乳軟こうの効きめがおちたころ）にかかりやすい</li> <li>・汚れた乳房がかかりやすいので、後ろ側の乳区の感染率が高い</li> </ul>
大腸菌群	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菌体のだす毒素により、高熱や食欲不振、体重減少、乳量の低下、異常乳などの現象をおこす</li> <li>・乾乳の終わりから分べん時に感染するものが多い</li> <li>・重度のものは分べん後70日から90日に発症</li> <li>・糞尿や汚れた敷料など、非衛生的な環境に存在する</li> <li>・急性発症しても、7割ぐらいは生き残るが、低下した乳量は、ほとんどのものが回復しない</li> <li>・暑くて湿気が多い時期、長雨でぐしょぐしょになる時期に感染しやすい</li> </ul>

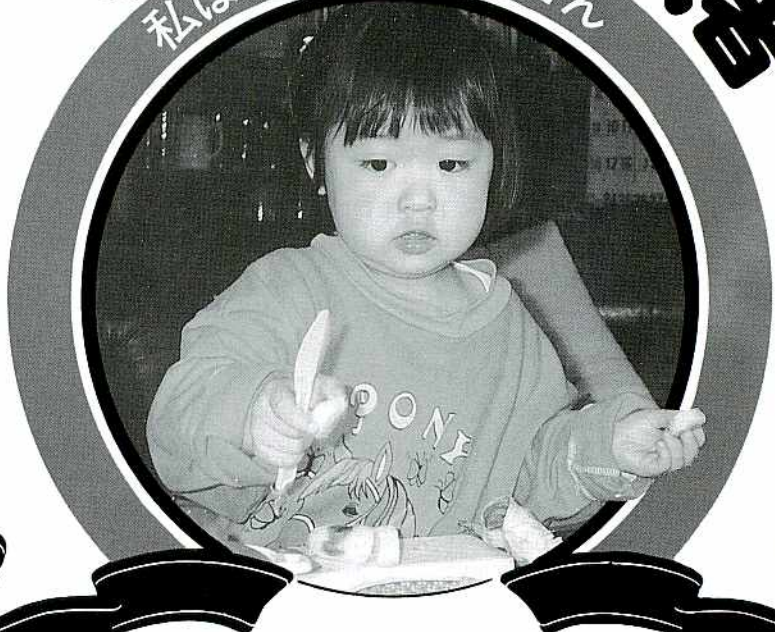
乳房炎菌種別の特徴（93年酪農技術研修講座資料より）

- 一千六百五十円
- エゾヤマザクラ（二割）
- 二千二百円
- ハマナス（〇・八割）
- 八百八十円
- モンタナマツ（〇・四割）
- 一千六百円
- オンコ（〇・八割）
- 一千百円
- キタコブシ（二割）
- 三千八百円
- ヤマモミジ（一・五割）
- 二千二百円
- ハルニレ（一割）
- 一千百円
- イボタ（一割）
- 二百四十円
- ニシキギ（二割）
- 二千五百円



# わが家の人気娘

私はかわいいコックさん



依橋地区 伊東信一・ステラさんご夫妻  
長女 真衣ちゃん(2歳7カ月)

「こめんください」と玄関まで入ると、元気いっぱいな笑顔で迎えてくれる真衣ちゃん(一歳七カ月)は、伊東さん宅のおちやめで、カワイイ女の子。

今まで、人見知りをした事がなく、初対面の人にもニコニコと愛想が良い所は、とってもカワイイのですが、おじいちゃんいわく「知らない人にでもくっついていきそうで心配だ」との言葉に、家族みんな笑います。



外で遊ぶのも大好き、おてんばぶりも発揮



マイクを持ったら離さないというほど、歌が大好きなの

この日の真衣ちゃんは、上機嫌で、家族みんなの名前をフルネームで上手に紹介してくれたたり、大好きな歌を振りつけ付きで披露してくれたりと、元気いっぱい。

そして、今、一番夢中なのは、料理の真似っ子。オモチャの台所セットで、おせんべいやバナナを切って見せてくれました。

お母さんが台所に立つと、手伝いたがるそうで、今では卵を割るのが得意だとか。でも「真衣が手伝うと時間がかかって大変」が母の本音。まだまだ、お手伝いにはならないようだけど、女の子らしい面がちらほら見えてきて、家族みんな真衣ちゃんの成長ぶりがとても楽しみなようです。

中標津へ嫁いで三年のステラさ

ん、真衣ちゃんと一緒に言葉を覚えようと、ただいま奮闘中ですが「娘の方が上達が早い」と笑います。

毎日、明るく元気な真衣ちゃんを中心に伊東家は、にぎわっているようです。

「色んな国の人に理解のある子になって欲しい。でも今は健康で元気に育ってくれればいいよ」とお父さん。そして、「私の国では、自分の子どもに偉い人になって欲しいと望むけど、真衣には自分の思った通りに進んで欲しい」とお母さん。

そんな両親の愛情あふれる願いの中、のびのびと明るく育っている、真衣ちゃんでした。



# 総会での議論を念頭に

昨年は雪でしたが、今年は春らしい陽気の中で、第四十八回農協通常総会が開催されました。

総会には緊張、不安、期待など色々な思いが複雑に交錯した独特の雰囲気があります。

地区別懇談会を数回にわたり開き、その意見の集約を役員協議会で整理をしました。

組合員の意見を踏まえて総会議案を作成しましたが、果たして十分であったかと心に懸けつつ、またこれからの経過を思いつつ、緊張して開会を待っていました。

昨年を顧みますと天候では春先は順調で、夏は猛暑、秋は長雨、そして十月に東方沖地震とまさに天変地異の一年でした。

また生産面では、生産調整によるスタートの牛乳生産は、下期の上方修正を受けましたが、目標数量に未達となりました。

畑作では収量は馬鈴しょは平年、ビートは史上最高となりましたが、でんぶん価、糖分共に低水準でし

た。

この様な中で組合員の皆さんの努力、職員の業務に支えられて、農家経営、農協経営、共に一定の成果を上げることが出来ました。

●今月のたより……

## 組合長日誌

代表理事組合長  
三友 盛行



改めて感謝してお礼申し上げます。

今総会は緊迫した雰囲気の中で、長時間にわたり行なわれました。このことは提出した議案の重要



努力を致します。

事業計画の中に農協、組合員にとって重要な目標を掲げました。

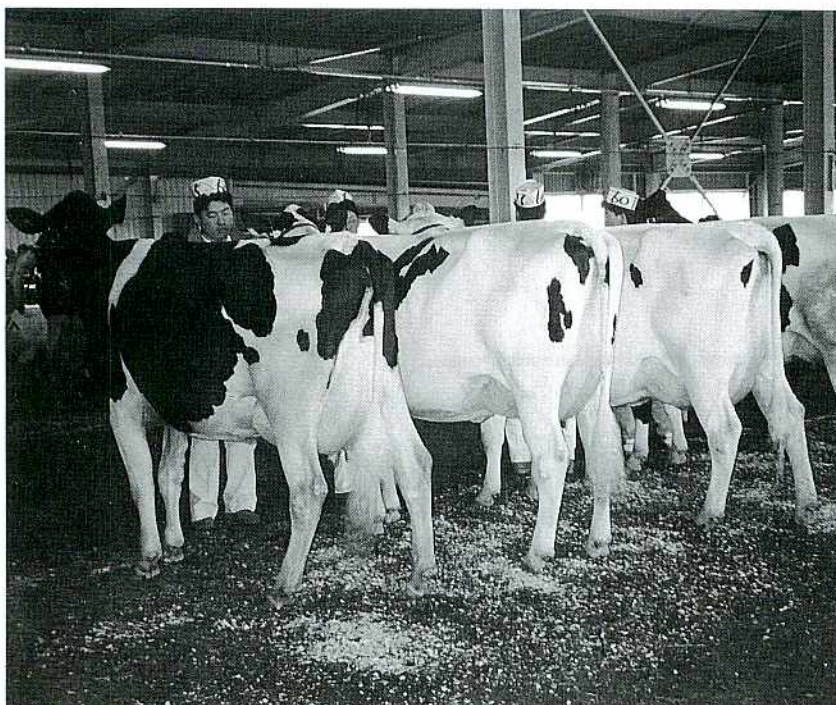
酪農においては、生産調整期ではありませんが、個々の経営の実態に合わせて牛乳生産に励んで下さい。また、乳質乳価の実施による乳価の値下が懸念されます。乳質改善は経営改善でもあるので、一層の乳質向上を重点事項として掲げました。畑作では昨年の高収益事業による肉牛センターの堆肥活用を積極的に行ない、土づくりに励んでゆきたいものです。そして、将来のために、加工用馬鈴しょの品種改良、第三の畑作物の開発が期待されます。

良質でより安い生産資材の供給、生産物の有利販売、営農相談、資金利用の整備等々、農協のなすべき事は多く多岐にわたっておりま

す。総会での議論を重く受け止め、これから一年間、役員員一体となって励んでまいります。

春の訪れと共に一斉に農作業が始まります。健康と事故に充分留意されて、豊穰の秋を迎えることが出来ます様に祈ってやみません。

## ジャッジングコンテストの勉強会も実施



今年初のショーに観客も多く、出品者も力が入りました

# 春を告げる 中標津B&Wシヨウ

福嶋信博氏、ジュニア、シニアチャンピオンを制す

根釧に春を告げる中標津乳牛改良同志会（会長・弾正原正）主催による、第三十五回中標津B&Wシヨウが、四月二十三日ホクレン家畜市場を会場に開催されました。当日は雨天により会場を屋内に移しての審査となりましたが、一部から九部まで五十頭が出品されました。管内では今年初めてのシヨウということで、別海、十勝方面からの観客も詰めかけました。審査員には山田博和氏（中春別酪農家）があたり、的確かつスピーディな審査で次々と序列付けされていきました。また、第五部ではジャッジングコンテストが行なわれ、出品者、観客など約百人が勉強をかねて行ない、有意義なシヨウとなりました。なお組合長杯（ジュニアチャンピオン）には福嶋信博氏出品のハッピーランド・ゴー



表情も晴れやかに、チャンピオンの皆さん

ルド・ナイト号、町長杯（シニアチャンピオン）には福嶋信博氏出品のハッピーランド・クリスタン・ジャスティン・スギ号が獲得しました。また、四部門あるチャンピオンの内、三部門を福嶋信博氏が制するという過去に例をみない成績を納めました。

各部位入賞牛は次の通りです。

1部	109	エクセルシア	プリジュアー	久保 剛	JRC
2部	206	ティーエム	クレイシン トニー	富沢 貢	
3部	303	ハッピーランド	ゴールド ナイト	福嶋 信博	J C
4部	402	エクセルシア	アスター ハニー	久保 剛	
5部	505	スカイハイ	スコーピオ エレガンス	舟橋 信一	
6部	603	ピーターチエ	アザリア マーシャ	久保 剛	
7部	702	サニーデール	ミスティ レーモン	弾正原 正	
8部	805	ハッピーランド	クリスタン ジャスティン スギ	福嶋 信博	S C
8部	806	ハッピーランド	マイク ウイナー スター	福嶋 信博	SRC
9部	902	アースイースト	ミソノ トリプル	佐々木昭雄	

# 第42回 農協婦人部通常総会 女性の地位向上を目指し



平成7年度に向けて活発な意見が交されました

第42回 J A 婦人部通常総会が4月3日、農協大会議室において開催されました。

まず、横田部長からの開会挨拶後、来賓の方から祝辞をいただきました。続いて依橋高台の酒井さん、南共栄の長正路さんを議長に選出し、議案が進行されました。

〈議案〉

第一号 平成六年度、事業報告並



見て、聞いて、なるほど納得。比較テストの様子



コーヒー、ウーロン茶など試飲しました

びに収支決算について

第二号 平成七年度、事業計画並びに収支予算(案)の設定について

第三号 会費の賦課徴収方法について

第四号 規約の改正について

全件原案通り承認されました。新年度は、役員体制を改め、会議の重要性を見直し、婦人部員としての意識の高揚を図りたい。

また、部員の理解と協力のもと活動を活発にし、女性の地位向上を共に目指していく事を確認し、総会を終了いたしました。

その後、ホクレンの飯島氏を招

き、Aコープマーク商品の比較テストを行ないました。缶コーヒーやウーロン茶など試飲し、商品の良さを実感しながら、楽しい時間を過ごしました。

今後も、アイデアあふれる活動を、部員みんなで展開していきます。

〈平成七年度役員〉

部長 横田 純子(第二俣落)

副部長 井口伊津子(武佐)

〃 佐々木美佐子(俣橋)

会計 中林 文子(俣橋)

監事 丹羽 俊子(武佐)

〃 熊倉 純子(中標津)

# 加工向成分取引き 一部変更

6月分乳代から実施

## 乳価配分比率40対60に

加工向乳価の成分取引きにおける取引き方法の一部が、乳業者との協議経過をふまえ、特別委員会の答申に基づき次のとおり変更となりました。

一、乳業者との協議経過

(1)加工原料乳の取引きについては、従来の乳量量目および乳脂肪分量による取引きから、昭和六十三年十二月より乳脂肪分・無脂乳固形分による成分取引きに移行し、基準取引き価格の乳脂肪分・無脂乳固形分への配分比率を五十対五十とする内容で平成四年度まで経過しました。

(2)平成五年度にはいり、乳業者より「バター・脱粉の跛行性が顕著になり、バター在庫が過剰となったため、生乳生産面、製品の需要拡大面から生乳の乳脂肪分、無脂乳固形分の価値比率の見直しが必要であること」を理由に、乳価配分比率を四十対六十に変更することを求められたが、本会は大きな変動は困難と主張し、EC諸国並の四十五対五十五に変更することと決着し、平成五年十月より実施、現在に至っています。

(3)しかしながら、四十五対五十五への変更後もバター・脱粉の価値比率の格差が広がっていることから、乳業者からは平成六年度にはいつてからも、「乳製品市場の変化に対応した弾力的な成分取引きの変更」を強く求められました。

(4)このため、平成六年十二月九日開催第五回特別委員会において、これらの経過について報告するとともに、加工向成分取引きにおける乳価配分比率の見直しについて、乳業者と交渉を行なうことの了承を受け、取引き当事者間で新たな経済的利害が生じないことを前提に交渉に着手しました。

(5)本会は乳業者に対し、「バター・脱粉の跛行性の問題」および「緩やかな比率変更の必要性」などの観点から、乳脂肪分と無脂乳固形分の配分比率を四十対六十に変更する提案を行ない、乳業者側は「今回の変更はあくまで経過措置であり、将来的にはさらなる比率改定を考慮すべき」との主張はあるものの、前回の改定時の経過から、本会提案に対して基本的に理解を示しました。

(6)このような交渉経過を受け、二月九日開催第六回特別委員会および二月二十日開催第七回特別委員会において、今後の取り進めを協議した結果、将来的な需給環境を見据えたなかで、乳価配分比率を四十対六十に変更することが望ましいと判断され、生乳受託販売委員会に答申することが決定されました。

変更案と現行方式との加工向受取乳価の比較(税抜)  
(平成6年度基準取引価格による試算) 単位:%,円

FAT/ SNF	8.5	8.6	8.7	8.8
3.6	+0.20	+0.24	+0.28	+0.32
3.7	+0.11	+0.15	+0.19	+0.23
3.8	+0.02	+0.06	+0.10	+0.14
3.9	-0.07	-0.03	+0.01	+0.05
4.0	-0.16	-0.12	-0.08	-0.04
4.1	-0.25	-0.21	-0.17	-0.13

## 二、変更内容

### (1) 乳価配分比率

基準取引き価格の乳脂肪分と無脂乳固形分との乳価配分比率を、現行の四十五対五十五から四十対

六十に変更する。

### (2) 取引き基準成分率

ア、乳脂肪分率三・五割（現行通り）  
イ、無脂乳固形分率

受取り総乳代を現行方式と同一とするため、平成四〜六年度の三年平均成分率実績の確定後、別途設定する。

### (3) 成分単価

平成七年度基準取引き価格の決定後、(1)および(2)に基づき別途設定する。

### (4) 実施時期

平成七年六月分乳代より実施

# 乳質乳価の改定される

6旬のうち  
1旬下がった  
ものについて  
見直し

乳質評価については、生産者の乳質改善努力を乳代支払いに反映させるべく、平成五年度に生乳受託販売委員会に「乳質評価に係る専門委員会」を設置し、検討を行ないました。

委員会では、今後本道の飲用向原料乳供給基地としての使命が高まり、特に生乳の道外移出が拡大するであろうことから、これに対応しうる良質な生乳を継続して安定的に供給することが望ましいとして、三カ月間（九旬）、生菌数、体細胞数とも一定の基準を上回ったものを奨励対象とする答申を行ないました。

この答申を受けた生乳受託販売委員会では、原案を修正し評価期間を二カ月（六旬）として、平成六

年八月よりの実施（十月分乳代より乳質評価が反映）を決定しました。

この際、平成七年度実施内容については再検討することも決定され、平成六年十二月九日開催第七回生乳受託販売委員会において、その検討を特別委員会に付託しました。

特別委員会では、本評価については、実施後半年を経過し、種々の意見が出されているものの、生産現場に定着しつつあるところであり、見直し内容は現場を混乱させることのないよう、小幅に留めるべきであるとし、評価基準・評価期間については、基本的に現行どおりとするが、一句成績（ランク）が下がると、その後（その月）の乳質改善意欲を失ないかねないこと、および体細胞数については、

乳牛の生理上一時的に増加する場合も考えられることから、六旬のうち一句のみ、その成績が下がったものについて、ランクの見直しを行なうこととしました。

改定案として、評価基準・評価期間については、基本的に現行どおりとするが、現行ランク三に格付けされるもののうち、生菌数が六旬十万以下かつ体細胞数が六旬のうち五旬三十万以下のものをランク二に格付することとし、本改定については、平成七年三、四月分の成績により、五月分乳代より実施することになりました。

平成6年8月から実施された乳質評価の結果

ランク	評価基準		乳量構成比				
	生菌数	体細胞数	当初予測	10月	11月	12月	1月
1	3万以下	30万以下	40.0%	47.2%	58.5%	64.5%	67.3%
2	4～10万	30万以下	12.0	9.0	6.6	4.3	3.6
3	11～20万		46.3	43.0	34.4	30.6	28.5
4	21万以上		1.7	0.8	0.5	0.6	0.6

## 乳 質 格 付 表 (改定後)

区 分	1	2	3	4
生 菌 数	3万以下	10万以下	11万～20万	21万以上
体 細 胞 数	30万以下			
条 件	2カ月間の旬単位の検査で全旬上記条件に該当すること	2カ月間の旬単位の検査で、生菌数は全旬上記基準を満たしかつ体細胞数は5旬以上上記基準を満たし、ランク1に該当しないもの	2カ月間の旬単位の検査で、生菌数は1旬でも当該条件の場合、または体細胞数が2旬以上30万を超える場合	2カ月間の旬単位の検査で、生菌数が1旬でも当該条件の場合
乳 質 単 価	3円/kg	1円/kg	0	-3円/kg
対 象 乳 量	判定翌月の全乳量	判定翌月の全乳量		当該旬の全乳量

## 新職員農家実習 を終えて



生産部流通促進係 服部 寛昭

私は、農協職員になるにあたって組合員さんがどのような仕事をなさっているかを知るために、四月十日から十五日までの六日間、高橋勝義さんの牧場で研修させていただきました。

作業の内容は、朝晩の搾乳及び農作業全般でした。学生時代に、なまけた生活をしていた私にとって一番大変だと感じたことは、朝五時三十分の起床でした。

搾乳方法は、私の知っていたパ

イフライン方式のミルクカーでなく、ミルクングパーラー方式によるもので、とても楽に作業ができただけでなく、酪農技術の進歩に驚き、自分の勉強不足を痛感しました。

また、搾乳の合間には発情牛への種付けの現場も見せて頂いたり、ボイラー用の薪割りをさせて頂きました。薪割りについては、普段運動不足のせいもあってか体中が痛くなりましたが、よい経験になりました。

作業時間外では、ご主人から農協の現状や今後の課題、農協職員としての心構えなどのお話を聞くことができて、大変勉強になりました。

また、家族の方も大変温く迎えていただき、楽しい実習生活を送ることができました。

最後に、私はまだまだたくさん勉強しなければならぬことがあります。中標津町農協の発展のために、微力ではありますが精一杯努力してゆこうと思っておりますので、皆様にご指導していただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



# 組織の連帯強化、 事業検討委員会の継続を

第四十七回中標津町農協青年部通常総会が四月十二日、農協大会議室で開催され、平成六年度事業報告、平成七年度事業計画(案)などが審議されました。

開会では飯島浩部長が「夏場の猛暑や東方沖地震など農業経営に大きな被害をもたらし、農業情勢を見てもガット受託後の国際化の波に直面するとともに、生乳需給の極端な変動により大変な一年であった」とあいさつ。

続いて農協・浜谷営農部長、新出實中標津町長、根室地区農青協・菊地修一会長から「新しい時代、国際的視野に立つと共に、青年部として何をすべきかを考えて、活発な活動を展開していただきたい」と来賓の方から祝辞が述べられました。

その後、出席者四十一人の中から推薦で依橋支部の金子安一氏が議長に選任され、平成六年度事業報告、平成七年度事業計画(案)、規



新役員体制の中で組織強化の重要性を確認した総会

## 書記体制で本部とのパイプ作りに



7年度の活動を慎重に協議する部員

約の一部改正(役員の会計を書記に変更)など、提出された議案全てが原案通り承認されました。

質疑では、支部や本部部員が減少するなかで、組織の連帯強化を事業の中でどう展開して行くのか、伯爵&缶バターキャンペーンの今後のあり方など、建設的な意見が出され、これに対し書記の役割と本部のパイプ役となる支部長の重要性、事業検討委員会の継続など応答がなされました。

最後に異業種交流事業で、じゃがいも伯爵まつりを共に主催する中標津町商工会青年部・池田秀人部長の「中標津町振興のため両部共協力し、事業を展開して行きましょう」との力強い万歳三唱で閉会いたしました。

平成七年度役員は次の通りです。

- 部長 高橋 敏行 (中標津支部)
- 副部長 高橋 正一 (武佐支部)
- 〃 岩井 淳一 (俣落支部)
- 会計 清原 孝志 (武佐支部)
- 監事 松田 隆 (武佐支部)
- 〃 真野 勇一 (依橋支部)
- 幹事 山田 昇 (当幌支部)
- 〃 安達 政宏 (武佐支部)
- 〃 上ヶ島利春 (俣落支部)
- 〃 福嶋 信博 (依橋支部)
- 〃 板橋 匠 (俣落支部)



# 新婚さんこんにちは

のたえない  
笑いの  
明くたえない  
志賀家に

志賀 章さん(25歳)  
まゆみさん(26歳)  
(旧姓雄沢)  
北武佐・志賀詔一さんの後継者

平成七年四月二十三日、中司哲  
雄様ご夫妻のご媒約により、志賀  
章さん、まゆみさん(旧姓雄沢)の  
結婚祝賀会が行なわれ、新生  
活のスタートを切りました。

二人の最初の出会いは高  
校生の時で、章さんが一  
年の時、まゆみさんは  
三年生、お互い中標津  
から汽車で通い、多少  
話しをする程度で意識  
はしていなかったよう  
です。  
それから数年後、章さ  
んは後継者として家業



に就き、まゆみさんは別海のクリ  
ーニング店に勤務。馬鈴しよの収  
穫作業も終わり、章さんは宅急便  
のアルバイトに出かけ別海方面に  
行った時、たまたままゆみさんの  
車とすれ違ったのが二度目の出会  
い。その後も数度となく出会い、話  
しもするようになり、志賀さんが、  
今度初日の出を二人で見に行かな  
い」とまゆみさんを誘った事が、結  
婚への道につながったようです。  
「酪農と畑作とわからない事は  
かりですが、一つひとつ勉強して行  
きたい」とまゆみさん。章さんは、  
「明るく、楽しく、笑いのたえない  
志賀家に行きたい」と話して  
います。

昨年十二月から「ケフィアオー  
レ」の本格的な製造を始めた乳製  
品工場では、今までの紙パック一  
リ入り、五百ミリリットルの二種類の  
商品に加え、新たに百五十ミリリット  
ルの小型ボトルを製造、四月十日  
から販売が始まりました。  
ケフィアオーレは、「ケフィアの  
菌が生きている本物の味」をキャ  
ッチフレーズに、紙パックの二種  
類とも健康飲料、乳製品として町内  
はもとより札幌、東京などで広く  
販売されていますが、販売先から、  
もっと手軽に清涼飲料感覚で飲め

## ケフィアオーレに小型ボトル登場

とまだまだ販売できる、との要  
望を受け、新たに小型ボトルを商  
品化したものです。  
この新商品は、プラスチック製  
のストロー付きで、上部のアルミ  
部分にストローを差し手軽に飲用  
する事ができ、価格も一本百三十  
円と手頃になっています。  
小型ボトルを販売してから約一  
カ月になりますが、小型ボトルと  
共に紙パックの販売も比例して好  
調で、これから春、夏に向けさら  
に販売が期待されています。

ストロー付きで  
手軽に飲用  
販売増に期待をよせる



前別が新発売の小型ボトル、商品も三種類と並び  
販売が期待されます



MILK

## みるく・たいたいむ

TIME

## デンマークでの

## 実習を終えて

南俵橋 中村正生

一年というデンマークでの実習を終え、再び家での生活が始まった。

今の僕はフヌケ状態である。それはまるで、炭酸のぬけたコーラのごとく、まずい状態である。

一年という時間は短いようだが、やはり長かった。いや、実際のところは短いかもしれないが、中身はとて濃かった。そして、今ふりかえってみると、毎日が緊張の連続だったし、実家にいるかぎり、使う必要もない神経をつかっていた。物事を悪い方向にばかり考えてしまうという短所を、十分に生かしておかげで(?)どうしてこんなドツボにはまらなきゃなら

ないの?」と、泣きたくなることもあった。

実習が始まったばかりの頃、要領の得ない僕の仕事に主人はよくいらついていたし、そのいらつきが目に見えるだけに、僕のあせりはつのるばかりだった。大目に見てくれたって……という甘えはきかなかつた。

主人は仕事の顔と家庭の顔と二つ持っていた。そして仕事の顔は家庭に持ち込まなかつた。家の中ではいつも良き一家の主人だった。台所の手伝い、奥さんの手伝いをまめにしていった。

休日と作業のけじめもすっかりついていた。週末は土、日が休み。主人夫妻と僕とで、交互に休みを取った。主人夫妻が作業の週末、忙しくなりそうなので、手伝いましょうかと問うても、「あなたは休みの週末だから」との答えが返ってくる。そんな時は遠慮もせず、



語学研修中、先生と友達

友達の下宿で羽根をのぼした。

主人と毎日のように仕事をしていて、つくづく感じたのは、作業をするのに実に頭を使うというところである。ただ働くのではなく、いかに要領よく、能率よく作業するかを考えているのである。主人と僕はまるで逆のタイプだった。僕は失敗してから考えるタイプ、「どうして失敗したのだろう」と、主人は失敗する前に考えるタイプ

「どうしたら失敗しないか」と、いや、もちろんそんな主人だって失敗する事はある。しかし、ムダなつまらない失敗をするか、しないかは、作業に少なからず影響を与える。話しは少々飛躍するかもしれないが、国の政治のあり方にも表われているように思う。デンマークでは、問題の起こる以前に、(と云っては極端かもしれないが)それを起こさないために努力している。しかし、日本を見ると、問題が起こってから、いかにそれを処理するか努力しているように思う。

僕の他に七人の研修生がデンマークで実習した。週末には休みの合う友達が集まっては、くだらない話しをしたが、励まし合ったり、お互いに刺激があった。それぞれが、それぞれの苦勞を背負っていたから、その事を通してより深い交わりができた。良い仲間が与えられたとつくづく思う。

ふと、あるデンマーク人のTシャツの背にプリントしてある一語が目飛び込んできた。

Work Smarter Not Harder

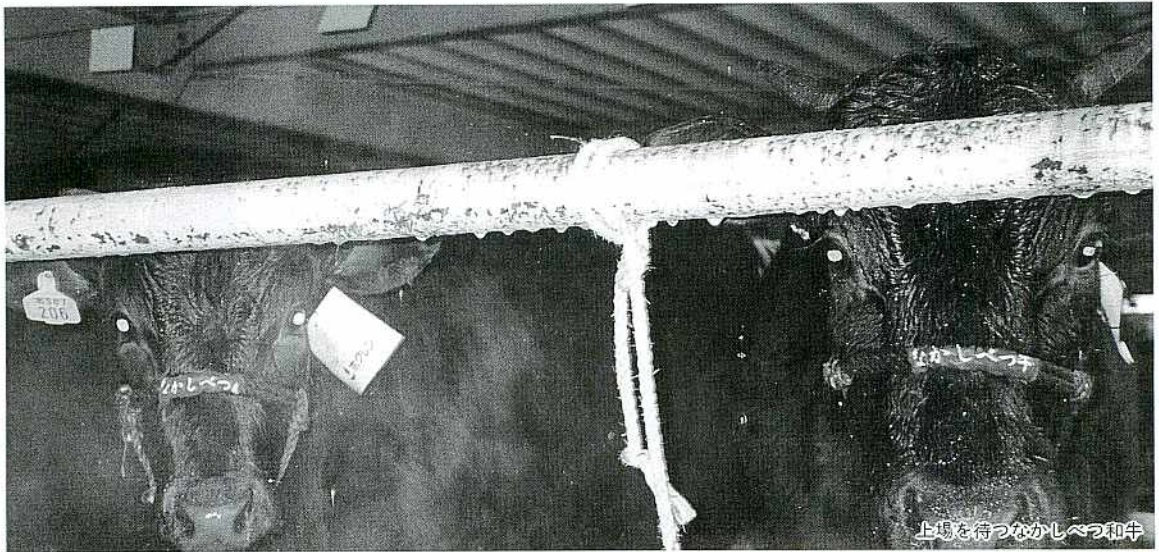
「がむしゃらに働くよりも、かしこく働け」

という事だろう。

デンマークで学んだ一つである。

# 黒毛和種の子牛出荷

## 「なかしべつ和牛」生後230日で50万円



平成7年4月 白老和牛市場出荷内訳

名号及び出品者	性	生年月日	体重	種牡牛	kg/単価	販売価格
A	♂	6.7.19	274kg	北国7の8	1,467円	402,000円
B	♂	6.6.24	309	紋次郎	1,589	491,000
C	♂	6.8.28	297	紋次郎	1,684	500,000
D	♂	6.7.1	278	紋次郎	1,399	389,000
E	♀	6.7.6	261	高栄	1,268	331,000
F	♀	6.7.3	275	高栄	1,120	308,000
G	♂	6.7.22	275	高栄	1,247	343,000
H	♂	6.8.10	327	富金	1,364	446,000
I	♂	6.8.21	238	菊福鶴	1,130	269,000
J	♂	6.6.6	241	糸藤	1,020	246,000

黒毛和種の繁殖牛を飼養する組合員（中標津町和牛生産振興会、竹村満夫会長、会員二十人）から生産された子牛が、四月開催のホクレン白老家畜市場に上場され、高価格で取引されました。

平成六年度一年間の白老家畜市場の取引全頭数の平均価格は、一円、雌八百五十三円で全道出荷単価で去成牛九百九十円、雌六百八十二円でしたが、そのうち「なかしべつ和牛」は去成一千四百四十円、雌八百五十三円で全道出荷されただけに、今回も購買者など

関係者の注目を集めました。

今回出荷された子牛は生後七・五カ月・十・五カ月の去成八頭、雌二頭でしたが、共に発育は極めて良好、血統も申し分なく、昨年以上の成績が期待されました。

ホクレン白老家畜市場は、和牛では道内で最も顕著で、全国各地から購買客が集まります。

最近では十勝の音更や北見の美幌も差がなくなってきましたが、白老の場合は種牛別や農協別など取引キターが公表され、「なかしべつ和牛」の銘柄作りをひとつの目標としている中標津町としては、その利用メリットがあります。

市場結果は別表の通りで、出品者名は都合により記載しませんが、最高値の子牛は生後二百三十日で五十万円で取引されました。\* 単価になると一千六百八十四円、日令単価では実に二千七百七十四円

## 日本の生産基地に向け期待!

幹ですが、遊休施設や余剰労働力などを利用し、繁殖牛を持たなくても受精卵移植を利用しての和牛の生産も可能です。

北海道が、黒毛和種の日本での生産基地になるのは目に見えてお

という驚異的な価格になりました。ちなみに、和牛子牛の育成経費は月約一万三千円を試算していますが、この牛は経費九万五千円になり、利益は四十万五千円ということになります。

中標津町はあくまでも酪農が基

ります。中標津町、また農協としても新畜産物として、和牛の振興も取り進めてまいります。

なお、今回の十頭の出荷牛は、良いものだけを選択した訳でないことを付け加えます。

## 理事会

### の経過

#### 第一回理事会

開催日時 平成七年四月十四日  
開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈議案〉

一、第四十八回通常総会開催日程

- と提出議案について
- 二、定款の一部変更について
- 三、なかしべつフーズ㈱に対する出資の増資について
- 四、各制度資金の貸付について
- 五、棚卸監査の監査報告について
- 六、災害復旧資金の借入について
- 七、組合員資格の変更について
- 八、農産課車輛リースの更新契約について
- 九、なかしべつフーズ㈱に対する

貸付限度額の変更について  
以上、九議案原案通り決定しました。

#### 〈協議事項〉

- 一、地区別懇談会の意見について
- 二、総会議案説明懇談会の日程について
- 三、総会前役員協議会開催日程について

#### 〈報告事項〉

一、乳質の状況と平成七年度高品

#### 第二回理事会

開催日時 平成七年四月二十二日  
開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈議案〉

一、なかしべつフーズ㈱に対する資金の貸付について  
以上、原案通り決定しました。



上場準備の毛刈り

# 暮らしの

## 知恵袋



北根室地区農業改良普及センター

酪農では朝晩の搾乳が畑作における収穫作業にあたり、この作業の善し悪しで、今までの苦勞が報われるかどうかが決まります。

北根室管内でも多頭化が進むとともに高性能の機械が導入され、便利になった反面、人も牛もオーバークワーク気味。

そのため、搾乳作業が機械的になったり、精神的に苦痛であるという声も聞かれるようになりました。

三百六十五日朝晩くり返される大事な作業です。意欲的に取り組むためにも、いかに能率的かつ正

確に行なうかを考え、より安定した酪農経営を目指しましょう。

搾乳作業においては乳房清拭やミルカーの着脱など、どうしても腰をかがめる必要がある場合を除いて、できるだけ前傾、前屈の姿勢や重い物を運ぶ回数を減らすことが望ましく、搾乳カートの使用が効果的と思われます。

搾乳カートには大きく分けて①台車タイプ②ワゴンタイプ③つり下げタイプの三種類があり、北根室内管内では台車タイプを使用している農家が多いようです。

台車タイプは市販品も多く、手

### 搾乳カート使用による利点

#### (1)労働力の軽減

ア、重たい物を直接持たなくてもよい。

イ、搾乳に必要な機材をカートに載せて移動することにより、無駄な動きを省ける。

ウ、バケツなどよく使用するものの高さを腰の位置まで引き上げることにより、前傾や前屈、ひねりなどの姿勢が少なくなり、身体への負担を軽減する。

#### (2)作業内容の改善

ア、バケツをはじめ、必要器具の位置を高くすることによって、地ベタに置いてある状態よりも衛生的になる。

イ、吊り下げ式や道東で考案された搾乳カートを利用すると、ペーパータオル用のホルダーやディッピング資材をかけるフック、ストリップカップなどもセットされているので、搾乳方法の思い切った改善ができる。

づくりも可能なので手軽に導入でき、バケツやクーラーボックスなどを乗せて移動します。重量物の

### ワゴンタイプカート使用による作業姿勢の改善

姿勢	カート使用前	カート使用后	増減
立位	26	71	+45
前屈	44	33	-11
しゃがみ	20	24	+4
運搬・歩行	49	35	-14

※搾乳作業において30秒毎に姿勢を確認しカウントしたもの

#### ①台車タイプ



## 5月～10月まで 農協業務時間が 変わります

農協の業務時間が、5月1日から10月31日まで次のように変わります。

- 事務所**
- 平日は午前八時三十分から午後五時まで
  - 土曜日は午前八時三十分から正午まで
  - 平日、土曜日午前八時三十分から午後五時まで（土曜日の午後営業は九月三十日まで）

- 貯金**
- 平日は午前九時から午後三時まで（土曜日は休み）
  - 平日は午前八時四十五分から午後六時まで
  - 土曜日は午前九時から午後二時まで

- 生活店舗**
- 平日、土曜、祭日、午前九時三十分から午後六時三十分まで
  - 平日、土曜日は午前八時三十分から午後六時三十分
  - 平日、土曜日、祭日午前八時から午後七時三十分まで

農協畜産販売課では、昨年からは畜牛の集荷業務を一部中標津運輸（株）に委託しておりましたが、平成七年四月一日から全集荷業務（一部初生牝集荷をのぞく）を同運輸に委託する事になりました。

専任の運転手二人が配属されております。今後は、集荷業務の効率化を図ると共に、巡回指導などに努め、事業を推進してまいりますのでよろしくご協力お願い致します。

〔畜産販売課〕

## 集荷業務全般を業者委託

① 音別町などで推進しているカー

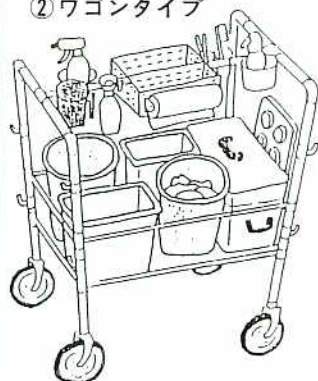
運搬から開放される利点がありますが、鋼鉄製が多く、台車自体が重い、作業面が床より若干高くなる程度で、前傾姿勢は軽減されにくいという欠点もあります。

② ワゴンタイプ

トです。バケツ類を作業しやすい高さ（床上六十五センチ）に設置して前屈み作業を減らし、さらに搾乳に必要な小道具を全て収納して、搾乳時の歩行距離と移動時間が最小限で済むようにしました。カートを使った人が「体も当然

楽になったが、何よりも楽になったのは「気持ち」であり、一番おつくうだった搾乳作業が、今はむしろ楽しい」と明るく話してくれたのが印象的でした。つり下げタイプについては次回紹介いたします。

### ② ワゴンタイプ



集荷業務には（写真左）太田（写真右）池内が、組合員宅に伺いますので宜しくお願いします

# 第15回家族協定調印式



調印を終えた竹村さん家族

## 近代的な自立経営の道へ 家族協定調印式

第15回家族協定調印式が4月20日、中標津町役場会議室で開催され、経営移譲をうけた4組の家族が調印を行ないました。

町農業委員会では、この家族協定を昭和61年から実施し、今まで131組が世代交替とともに、調印を行なっています。

今回調印を行なったのは、当幌竹村満夫さん、西武佐・中塚文夫さんら4家族で、各農業委員、関係機関が立ち会う中、家族間で経営の全権を移譲することについての円満な取り決めがなされました。



家族間で十分話し合い、調印に臨む中塚家族

# フ オ ト ア ス ル ズ ム

## 種類、品種を絞り込み成果を

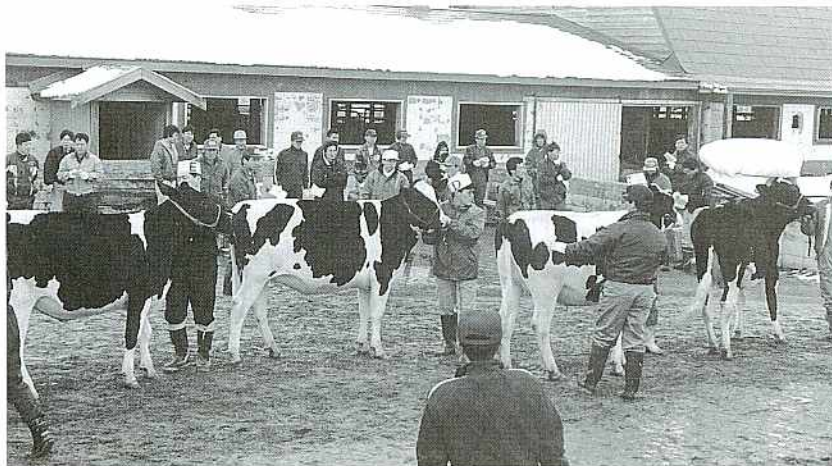
第3回野菜研究会定期総会



第3の作物を目指し、今年度の方針を検討した総会

野菜研究会(真野幸一会長・会員9人)の第3回定期総会が4月19日、農協中会議室で開催されました。この研究会は、中標津に第3の作物を模索しようと長いも、ゴボウ、ホウレン草など試験栽培に取り組んでいます。

今年は、発足から4年目を迎え、3年間の成果を発揮するよう、試験研究、勉強会はもちろん作物の種類、品種を絞り込み、ほうれん草や赤カブ、アスパラガスを中心に作付を行なう予定です。また、作付面積も徐々に増やし経営の中に取り組みで行く事を確認し、総会を終了しました。



1部門に6頭が出品され、むずかしい序列付けの講習会です

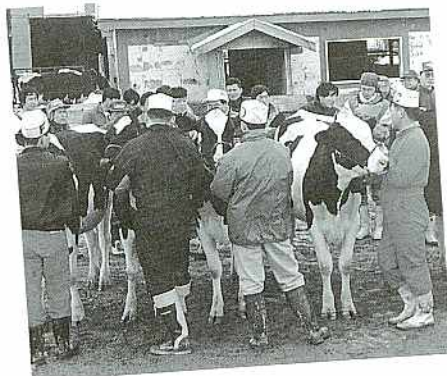


審査を努めた佐藤貢氏

## 寒い中、熱心に勉強会 乳牛審査講習会

乳牛改良同志会主催によるバーンミーティング（乳牛審査講習会）が4月18日、俵橋地区・中林牧場で開催されました。

当日は前日に降った雪が残り、とても寒い日でしたが、会員や関係者約75人が参加し、熱心な審査の勉強を行ないました。審査員には、北海道ホルスタイン農協の佐藤貢氏があたり未経産、経産各2部門、24頭について審査され、会員も審査、講評を行ない、お互い勉強の場となりました。また、俵橋支部の婦人の方々による、美味しいカレーライス、豚汁など、身も心も温まるサービスもあり有意義な一日でした。



## みんなが集まる 楽しい活動を 展開しよう

フレッシュミセスの集い



少数人数でしたが、楽しい日を過ごしました

4月27日に、フレッシュミセスの集いが開催されました。参加人数は、ちよつと少なめでしたが、午前10時半にウコウボウルへ集合し、ボウリングで楽しく交流しました。

その後、福住食堂へ場所を移して、平成7年度のフレッシュミセスの活動を計画しました。

日帰り旅行や、ミルクボール大会など、楽しくみんなが集まれる場をつくり、部員同士の交流を広げてゆけたら、と話しあい、今後も元気に活動しようと、はりきるフレッシュミセスでした。



見事なフォームで、ばっちりストライク

## 4月の 組合日誌

- 3日 農協婦人部第42回通常総会
- 6日 なかしべつフーズ(株)取締役会
- 7日 馬鈴しょ振興会役員会
- 8日 第1回役員協議会
- 12日 農協青年部第47回通常総会
- 13日 第1回乳質向上推進委員会
- 14日 第1回理事会
- 17日 決算監査(19日まで)
- 19日 酪農ヘルパー利用組合役員会
- 22日 第2回理事会  
〃 なかしべつフーズ(株)説明会
- 24日 第2回役員協議会
- 25日 地区別懇談会(26日まで)
- 28日 第48回中標津町農協通常総会

### 中標津保健センターより

#### 平成7年 春の総合検診の 延期のお知らせ

平成7年度、春の総合検診につきましては、5月15日～16日の2日間、中標津町保険センターで実施する予定でしたが、諸般の事情から延期となりました。

新たな実施日につきましてはまだ決まっておりませんので、決定しい地区保健推進員さんなどを通じご連絡申し上げます。

オープン  
行事  
決まる

## 文化会館のオープン間近

中標津町総合文化会館が7月1日いよいよオープンとなります。この建物は文化ホール、公民館、図書館の機能を有する複合施設で、町民の文化活動の場、交流の場、さらに生涯学習推進の拠点施設として利用されることとなります。今年は開町50年の年でもあり、文化会館オープン行事と合わせ、開町50年記念事業も実施されます。

現在決定している文化会館での行事は次の通りです。

- 7月1日 開館式典(開町50年記念式典)  
邦楽(尺八と琴)演奏  
町民合唱(土の歌)発表
- 7月2日 札幌コンサート
- 7月5日 横山幸雄ピアノリサイタル
- 7月9日 町民ミュージカル劇団「歩く夢たち」公演
- 7月13日 札木朗里ヴァイオリンリサイタル
- 7月15日 倍賞千恵子コンサート
- 7月30日 三味線百人演奏会
- 8月16日 ハウンドドックコンサート
- 9月17日 NHKのど自慢
- 9月23日 長谷部ギター合奏団ふるさとコンサート
- 9月30日 日本フィルハーモニー演奏会

### “もしも”にそなえ 農協の共済へ

推進に  
お伺いします

農協の生命共済推進が5月23日から26日までの4日間組合員全戸を対象に行なわれます。農協共済は「もしも」の時にそなえておく、終身、養老、こども、年金、長期定期などの生命共済により組合員、ご家族の生活を生涯にわたって保障いたします。また、思わぬ火災や自然災害の地震にそなえての建更共済の加入もお進めします。

今年も職員が皆様の各家庭を訪問いたしますので、宜しくお願いします。